

(公表用様式)

## 業務再点検結果報告

組織名	関東農政局 両総農業水利事業所	連絡先	0475-52-6262
所管する業務の概要	当事業では、千葉県香取市他5市7町1村の水田12,960ha、畑4,410haに農業用水を補給するとともに、水田1,510ha、畑70haの排水機能の維持・向上を図るため、利根川から地区内に導水する利根川両総水門1ヶ所、幹線揚水機場3ヶ所、支線揚水機場2ヶ所、幹線用水路68km、支線用水路21km、頭首工1ヶ所を新設・改修し、合わせて排水機場1ヶ所及び排水路6kmを改修する。また、関連事業として末端用排水路の整備、区画整理などを行う。		

1. 基本的な心構え・行動	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
関係機関、地権者、一般住民等からの電話及び来庁に対して、あるいは関係機関等の人との打合せ等において、相手方に好感をもってもらって適切に対応できるよう「接遇の手引き」等を基本として対応している。	感情的な問い合わせなどへの対応に苦慮することも少なくないので、「接遇の手引き」等の応用版的なものを用意したい。また、接遇のレベルアップを図っていくための講習会等も開いていきたい。
年間、四半期等の業務計画をたて、定期的な所内全体会議、専門官会議、課内会議により、業務の内容や分担、現状・予定などを確認しながら業務に取り組んでいる。	各部署の係員まで、進捗状況、問題点の共有が不足している場合があるので、共有状況に応じて、個別の打合せを行うなどにより改善を図る。
日々の行動の判断基準とするため、ネームプレートにビジョン・ステートメントを貼り付けて携行している。	ネームプレートに貼るだけでは意識する効果が小さいため、職員のみならず来庁者にも見えるよう、ビジョン・ステートメントを執務室、会議室、待合室に行動規範とともに掲示する。
省の施策を把握するため、新聞切抜等の回覧により情報提供している。	情報回覧だけでは効果が小さいため、農政局提供の資料等を用いて、隔週の所内勉強会にて主要な施策の説明を行う。

2. 政策・事業等の企画立案・推進	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>関係市町村等との各種の打合せの場において所管事業に加えて農水省の主要施策を説明し、意見・要望を聞いている。意見・要望の内容に応じて所内共有、又は農政局へ報告するとともに回答するように努めている。</p> <p>関係部署と強い連携の下で業務を進めていくため、これらと定期的及び必要の都度、打合せを行い、齟齬のないようにしている。</p> <p>各種打合せ・説明会等に当たっては、分かりやすい表現での資料を用意するとともに、説明する相手方に応じて使い分けて説明している。 専門用語等は避け、親切・丁寧な説明に努め、各種質問等に対しても丁寧に回答するようにしている。</p> <p>電話の割引制度の活用、昼休み時の室内の消灯、冷暖房の設定温度のこまめな切り替え、外注化していた清掃作業の直営化などの取り組みにより、事業所の運営経費節約を図るよう努めている。</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>政策・制度に関する要望については、各職員がすべてを理解することは難しい面があるので、所内の勉強会を開くことにより、知識を深めるようにする。</p> <p>意思疎通が不十分な面も見られる。関係部署同士で節目の確認作業等の徹底や、常日頃からこまめにコミュニケーションをとる。</p> <p>一方的な説明になるきらいがあるため、相手の関心を引き、更に親切・丁寧な対応をするために、分かりやすい図面を加えたり、分かりやすい噛みくだいた説明などに努める。</p> <p>電話の割引制度活用は相当の成果をあげているが、100%を目指して、周知の徹底など更に努力する。室内での余分な電気の不使用、両面コピーの推進のほか、エコ運転の実施などについても全職員の取り組み・協力に対して更に努力したい。</p>
3. リスク管理	
<p>・現在行っている取組や工夫</p> <p>災害時の緊急対応マニュアル、休日の受付連絡体制、庁舎の防火管理体制などを整備し、リスク管理に当たっている。</p>	<p>・点検によって得られた課題とその改善策</p> <p>緊急対応マニュアル等は、職員1人1人まで十分には浸透しておらず、有事に機能するか不明の部分がある。このため、説明会開催、防災訓練などにより実効性を高める。</p>

	また、マニュアルの内容を現時点の目で検証し、必要に応じて改定する。
工事の安全施工について、業者作成による施工計画書の審査、合同安全パトロールを実施している。	事業所独自の安全パトロールを月1回実施し、工事のより安全な施工に努める。
週例会等で、各々の業務の状況を確認するとともに、職員間での情報共有を行い、連絡の行き違いや業務の遅れが無いように努めている。	業務状況の相互確認が不十分な部分もあるので、課題の洗い出し、問題点の整理などを行い、早めの相談（打合せ）を徹底する。

4. 食の安全に関する取組	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
当事業所の業務（農業用水の供給による農作物の生産性の向上と農業経営の安定等）は、食料の安定供給と食料供給力の確保のために実施しているということを心がけて実施している。	食料安全行政等に対する意識・理解が不十分な面はあるが、「食の安全」に関する新聞記事等の配布や、マスコミの各種報道を職員間で話題にして意識の向上に努める。

5. その他の重要な取組	
・現在行っている取組や工夫	・点検によって得られた課題とその改善策
課内会議等の実施を通じて、自由に意見が言える職場環境作りや、業務の計画的な実施、業務の平準化に取り組んでいる。	業務スケジュールは作成しているが、予定どおり進行していない場合もある。業務の遅れを防ぐため、節目節目でより細かに業務の進行状況や課題を整理・確認し、フォローアップ体制を強化する。

職員の技術や知識、意識の向上にむけて、隔週有志による勉強会を行っている。

個々人の説明力を高め、モチベーションの維持・向上を図るためにも、参加者全員が何らかの発表を行うよう努める。